

浦戸湾の自然誌

第5号

Wildlife in Urado Estuary

No. 5

カジカ科 カマキリ（アユカケ）

Cottus kazika



2004年4月7日衣ヶ島にて採集，全長31mm.

高知県絶滅危惧II類．本種は1月から3月にかけて河口域や沿岸域で産卵するとされています．孵化した仔魚は沿岸で浮遊生活を過ごし，やがて成魚期の生息地である河川の中・下流域をめざして遡上を開始します．岡村（2002：高知県レッドデータブック）によれば，遡上を開始する時のサイズは全長13～15mmです．写真の個体は衣ヶ島周辺で小型曳き網により採集されましたが，遡上開始時のほぼ2倍の全長ということになります．成長すると標準体長（全長から尾鰭の長さを引いた長さにほぼ等しい）約25cmにも達します．

河川の水質は下流ほど悪化します．これは，人間の生産活動と密接に関連しています．高知市の人口は約33万人です．カマキリの幼魚は，このど真ん中にある浦戸湾を突っ切って流入河川へと向かいます．